

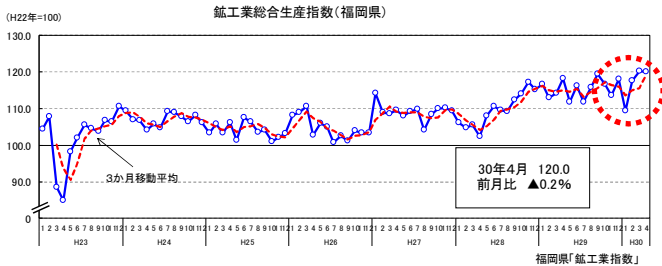
# ふくおかの経済

平成30年6月号



## 生産

4月の生産指数は、金属製品工業などが低下して、前月比で3か月ぶりに低下したものの、引き続き高水準で推移しています。

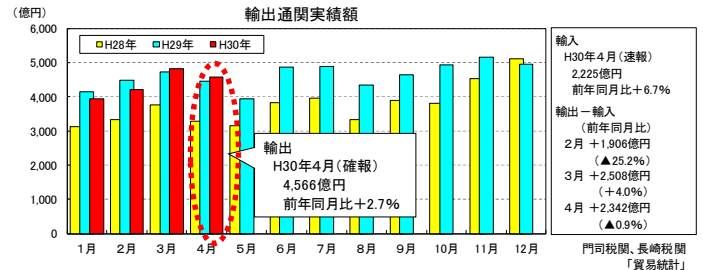


鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

## 貿易

輸出は高水準で推移、輸入は回復している

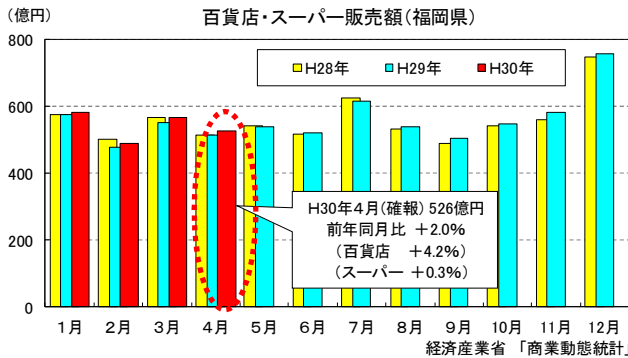
4月の輸出は、中国向け半導体等製造装置や中東向け自動車などの増加により2か月連続で前年を上回り、引き続き高水準で推移しています。



## 消費

緩やかに増加している

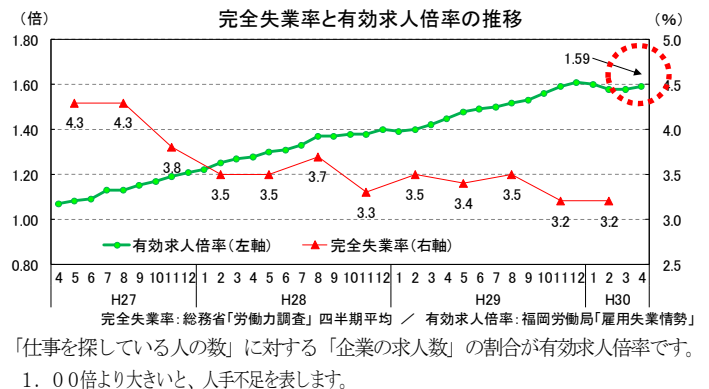
4月の百貨店・スーパー販売額は、気温が高く推移したことによる日傘等のUV関連品や化粧品・高額品が好調だったことなどから、9か月連続で前年を上回りました。



## 雇用

着実に改善が進んでいる

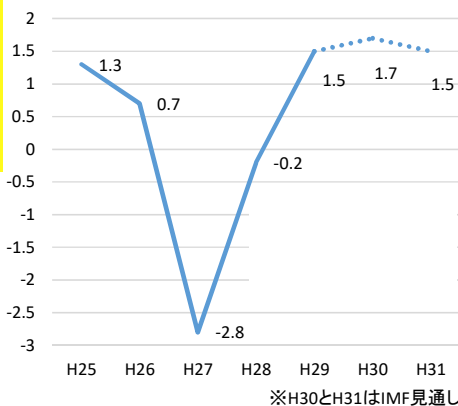
4月の有効求人倍率は1.59倍で、4か月ぶりに前月を上回り、昭和38年の統計開始以来、過去最高の水準で推移しています。



## 今月のトピック W杯で注目されるロシアの現状 ~意外と深い?福岡との関係~

- ロシアW杯では、連日熱い試合が繰り広げられています。今回はロシアの現状や本県とロシアの関係について紹介します。
- ロシア経済は一時期低迷していましたが、直近では緩やかな回復基調にあり、昨年1月のビザ緩和の影響で訪日客が急増しています。(図1、2)
- 本県とロシアとの貿易をみると、輸出は自動車関連、輸入は液化天然ガスが主な品目です。特に明太子の原材料となる「たらこ」の輸入額は大きく、本県とロシアとの関係は意外と深いことがわかります。(図3、図4)。

ロシアの実質GDP成長率の推移



資料) 総務省「社会生活基本調査」